

かわの

市議会報告 ニュース

2023.1 vol.01

発行元/河野麻美 事務所

2022年11月27日投開票
小金井市議会議員
補欠選挙

TOP 当選!

西岡前市長の突然の辞職に伴って行われた市議会議員補欠選挙にて、15,926票という多大なるご支援を賜り当選いたしました。

これからの2年間、市議会最大会派である「自由民主党・信頼の小金井」の一員として、庁舎や保育園の問題、また基盤となる財政の諸課題に取り組み、安定した市政運営のため尽力いたします。

市議補選の当日有権者及び投票率

当 かわの麻美
投票数 **15,926**票

当 高木 あきなり 投票数 9,301票

落 ながとり 太郎 投票数 9,267票

投票率 **35.58%**



Profile

かわの麻美 プロフィール

- 1988年10月、小金井市生まれ、小金井市育ちの34歳（現在、前原町在住）。
- 5歳と3歳の男の子の子育て真っ最中。
- 愛の園保育園、本町小学校、国立学園小学校、実践女子中学校、実践女子高校、明治大学卒業。

- 三井生命保険、楽天グループ株式会社勤務。
- 2022年11月、市議会議員補欠選挙にて初当選（自由民主党・信頼の小金井）。
- 総務企画委員会、庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会、青少年問題協議会委員、広報協議会所属。

お困りごとやご相談など、お気軽にご連絡ください!

連絡先

携帯

090-9249-6546

Mail

asami_k104@yahoo.co.jp



9 河野 麻美

小金井市議会 第4回定例会

ダイジェスト

第4回定例会は12月16日～26日の会期となりました。選挙が行われた関係で、短縮日程となり「一般質問は実施しない」、「各委員会は1日に2つの委員会を開催する」形となりました。



公立保育園2園廃園「専決処分撤回条例案、否決」

経緯

2021年

7月 西岡前市長が公立保育園園のうち園を廃園にする方針(案)を示す。

▶ 議会から、保護者や関係者への説明不足と指摘を受け、廃園する議案の上程を1年延期。

10月～12月 保護者や市民向けに16回の説明会を開催。

2022年

9月2日 廃園方針を盛り込んだ「市立保育園条例改正案」を上程。

9月27日 所管の厚生文教委員会において、参考人招致を求め「継続審査」となる。

▶ 2023年度の園児募集の都合上、前市長が2022年9月議会で条例改正案を上程し、当月中の議決を求めているが、「継続審査」となったため、2023年度からの廃園は事実上不可能となる。

9月29日 前市長、廃園条例を専決処分し、条例を成立させる。

10月7日 専決処分に承認を求める議案は、賛成、反対20で議会は不承認とする。

10月14日 自ら政治的責任をとるとして辞職。



白井新市長は、「廃園の是非を問うものではない。専決処分を議会が不承認にしたのだから元に戻すのは当たり前」とし、委員会付託を省略し上程した「小金井市立保育園条例の一部を改正する条例を廃止する条例」は賛成10、反対12で12月26日、本会議で否決されました。また、「現段階で5園を維持すると明言するつもりはない。条例設置の会議体で審議しその結果を重く受け止める。」と答弁しており、今後の検討となっています。

賛成	10	反対	12
子どもの権利を守る会 (片山、古畑、渡辺、高木)	4	自由民主党・信頼の小金井 (五十嵐、清水、吹春、遠藤、河野)	5
日本共産党小金井市議団 (森戸、たゆ、水上)	3	小金井市議会公明党 (宮下、渡辺、小林)	3
小金井をおもしろくする会 (水谷)	1	みらいのこがねい (岸田、沖浦、村山)	3
生活者ネットワーク (安田)	1	こがねい市民会議 (斎藤)	1
緑・つながる小金井 (坂井)	1		

※鈴木議長(みらいのこがねい)は、採決に加わらず、湯沢市議(自民・信頼)は欠席。

会派の意見

専決処分という手法は議会の議決を経ずに結果が決まるということであり、議会の権能を狭める危険性を持つ行為であることから、議会としては認めがたい手法である、という理由により不承認としました。この度、その専決処分の条例を、廃園を決める前の元に戻そうという目的で「小金井市立保育園条例の一部を改正する条例を廃止する条例」が議会に上程されました。

これまで、小金井市が「民間でできることは民間に」と民間委託化を方針として、行財政改革を推し進め、財政再建を果たしてきた経緯からも、公立保育園の民間委託化はそもそも賛成の立場でした。保育事業に係る国の方針は公立保育園の維持から民間保育園へと変える方向に多様な補助制度も創設されています。前市長が民間保育園を新規に大幅開設させたことにより、2023年2月の認可保育施設募集状況では、約350人の追加募集となり欠員が生じています。保育園の施設の老朽化や民間保育園の大幅な増加による経営への影響等の理由により提案された9月議会での保育園2園の廃園については、委託化を主張してきた我が会派でも必要な措置と受け止め、賛成としました。

また、保育の質、公立保育園の役割といったソフト面での議論はこれまでも続いてきましたが、働きながら安心して子育てできる環境整備のため、引き続きの協議・検討が必要です。



「太陽光パネル設置義務化の中止・撤回に関する意見書」賛成討論

「東京都による新築物件への太陽光パネル等の設置義務化の中止・撤回に関する意見書」について、自由民主党・信頼の小金井を代表し、「賛成」の立場から討論しました。

都は2030年に温室効果ガスを2000年比で半減させる「カーボンハーフ」を政策目標に掲げ、住宅が密集する東京では、二酸化炭素排出量の約3割を家庭部門が占めていることから、**新築一戸建住宅に太陽光パネル設置を義務付ける条例**を上程し、昨年末の都議会本会議で賛成多数で可決・成立しました。

国に先駆けて成立した本条例は、2025年4月から施行される予定です。脱炭素化社会に向けて、家庭部門への対策が急務という認識に変更はございませんが、一方で小金井市民・都民に十分に理解されている、納得してもらえる状況に至っておりません。都自ら、2年の準備期間が必要として、条例施行を2025年4月としている点においても、

協議・精査すべき課題があるということの現れと考えています。現在の太陽光パネルの設置補助事業の進捗状況を見極め、事業者の意見を伺い、事業の全体規模、環境対策としての効果、太陽光パネルのリサイクル体制の整備、人権問題や水害時への対応など様々な課題への対応を明確にしなければなりません。

義務化の始期だけを決めてしまう条例改正については、撤回を求めるものがあります。

小澤副市長 退任

12月31日付で小澤賢治副市長の退任が発表されました。これまで、都から出向される副市長は4年間の任期前に退任されていましたが、小澤副市長は2022年4月から**わずか9か月での退任**となりました。後任もおらず、小金井市は定数2の副市長が空席となっています。安定した市政運営のためにも、早期の副市長就任を望むところです。



かわの麻美 近況報告



「忘年落語会」の司会

当選後の初仕事は、産休中の湯沢市議の代打で担当した自民党東町地区の「忘年落語会」の司会。長島昭久衆議院議員をはじめとする多くの皆様にもご来場いただき大盛況のうちに終了しました。

市内の各種行事に参加させていただきました！

小金井青年会議所 「卒業式・納会」・ 「設立50周年記念式典 ならびに賀詞交歓会」

第807回例会「卒業式・納会」、「設立50周年記念式典並びに賀詞交歓会」に来賓として招待いただきました。半世紀という歴史を紡いでこられた小金井青年会議所の更なる発展と今後の御活躍を心より祈念しております。



消防団「歳末特別警戒」「出初式」

歳末特別警戒では、第四分団詰所にて子供たちも消防車に乗せてもらい、大興奮でした。生業を持ちながら、市民の生命や財産を守るための活動に感謝申し上げます。



前原町の「神明宮」に初詣

前原町の「神明宮」で新年をスタート！今年もコロナ禍のため、甘酒やお汁粉のふるまいは自粛となりましたが、初詣に来た多くの方とお話することができました。



「二十歳を祝う会」

宮地楽器ホールにて「二十歳を祝う会」が行われました。感染症対策のため、3部制での実施となりましたが、会場のあちこちから友達との再会を喜ぶ声が聞こえる素晴らしい式典でした。1,333名の20歳を迎えられた皆さま、ご家族の皆さまおめでとうございます。

「第43回新春たこあげ大会」

市内小学生が参加した「たこ原画コンクール」で入選したウサギの絵のたこを子供たちと一緒にあげてきました。

